

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年補遺版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)交野市学校給食センター	階数	地上2F
建設地	交野市倉治9丁目2667他	構造	S造
用途地域	用途地域:無指定、法22条地域	平均居住人員	45 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,520 時間/年
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2014年8月6日
敷地面積	6,081 m ²	作成者	㈱総合企画設計 板野
建築面積	2,462 m ²	確認日	2015年8月17日
延床面積	3,627 m ²	確認者	㈱総合企画設計 板野



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 53%

③上記+②以外の 53%

④上記+ 53%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	ゆとりのある建物配置と、衛生面に配慮したドライシステム対応の学校共同調理場。	その他 災害時に1000食のおにぎりを提供できるようBCP対策を実施。
Q1 室内環境	空調についてエアハンドリングユニットによる室温・湿度調整。トップライトによる自然光利用。	Q3 室外環境(敷地内) 外周部を緑被、配車庫棟の屋根を屋上緑化。
LR1 エネルギー	太陽光発電パネルの設置	LR3 敷地外環境 消滅式ごみ処理機の設置。
Q2 サービス性能	ガスコージェネレーションシステムの設置	
LR2 資源・マテリアル	再生砕石の積極利用。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)交野市学校給食センター		
	建設地	交野市倉治9丁目2667他		
	用途/区分	事務所 工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			5
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.8	5	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0	3
			住戸・宿泊	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
	コージェネレーションシステム	平常時のエネルギー利用効率の向上と非常時電源の確保		
	太陽光発電パネル	自然エネルギーの利用		
	LED照明の積極利用	使用電力の低減に配慮		
	電源自立型空調GHP	運転時に発電を行うことで使用電力の低減に配慮		
特に配慮した事項				